

円型水槽

共同溝

ボックスカルバート

防火水槽

ボックスガレージ

L型擁壁

水路

貯留槽

河川護岸基礎用
ブロック

ATMブリス

建築部材

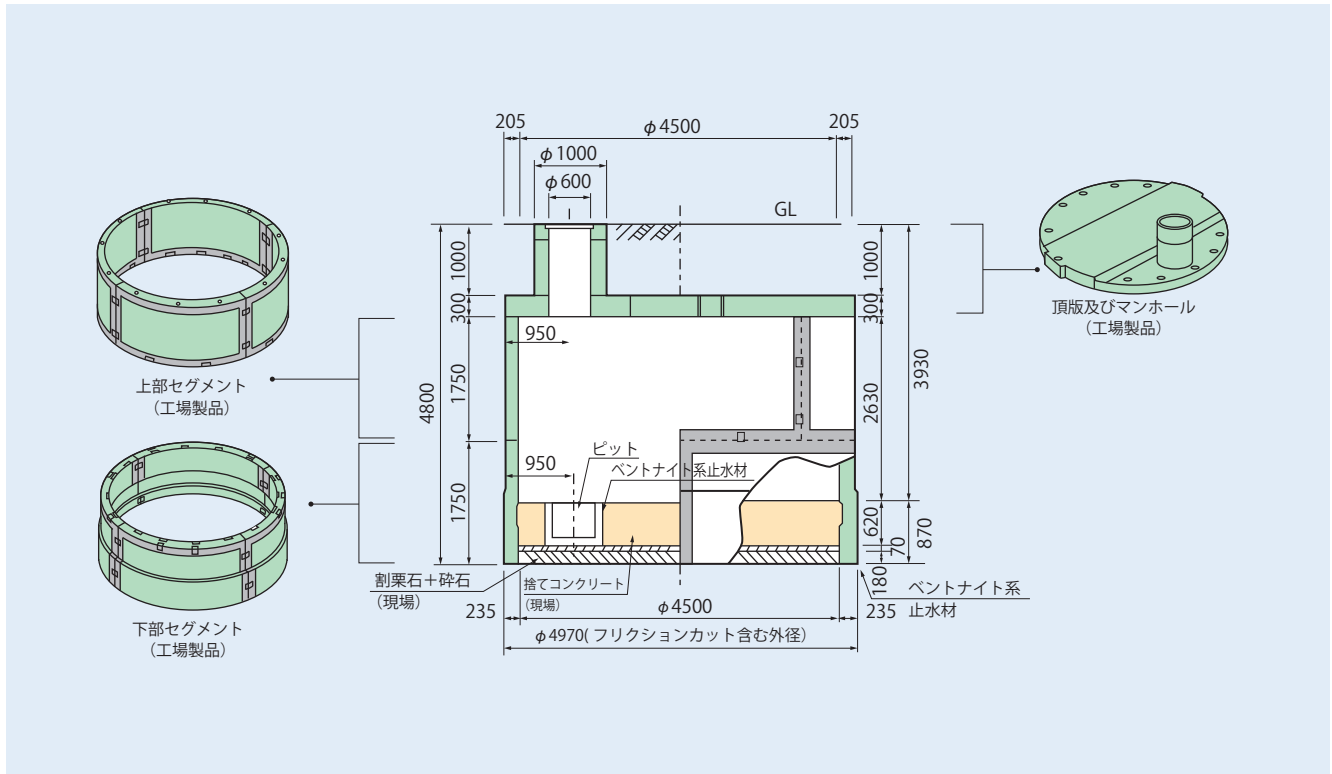


耐震性防火貯水槽

●内容積40m³ ●標準土被り1.0m ●空地用および道路用
40m³ 401型

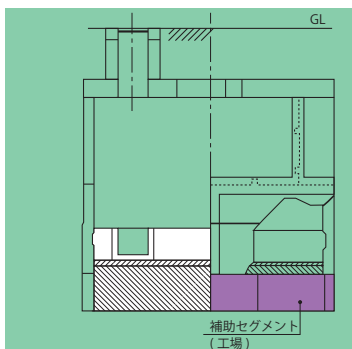
認定番号 耐-03123号 防-03301 耐-00012号 防-84009-1号
 型式記号 401-I.Ⅱ.Ⅲ 404-I.Ⅲ 404-I.Ⅱ 401-I.Ⅱ

豊富な納入実績



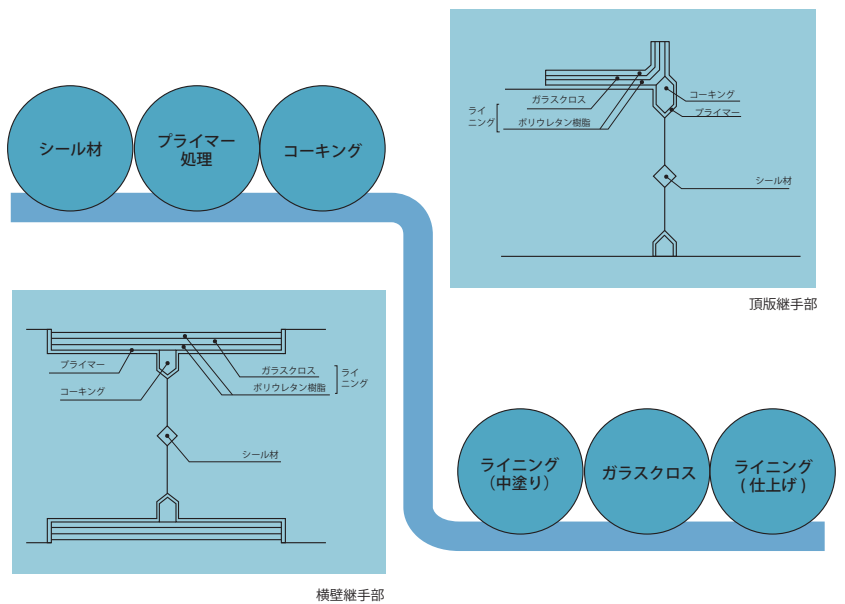
補助セグメント

軟弱地盤に据え付ける場合、ヒービング、ボイリングなどが生じ、底版の位置まで側壁内面の土が盛り上がると、床付けが不可能となります。そこで当社は、軟弱地盤でも用意に施工管理ができる、補助セグメント工法を開発。この工法を採用することで、地盤の詳細なデータがなくても、施工現場でのより高い安全性が得られます。



継手止水詳細

全6工程の止水により、目地処理は万全です。



共同溝

ボックスカルバート

防火水槽

ボックスガレージ

L型擁壁

水路

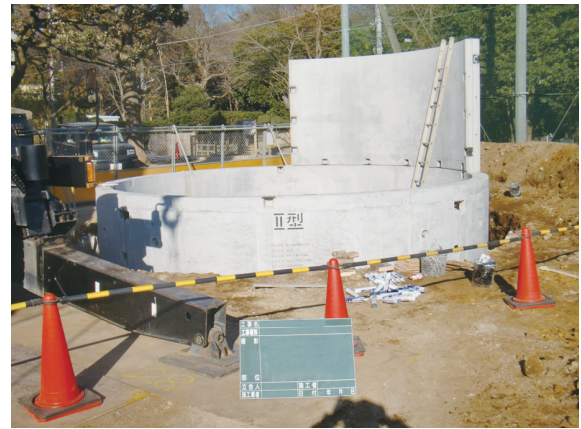
貯留槽

河川護岸基礎用
ブロック工

ATMブース

建築部材

施工例



共同溝

ボックスカルバート

防火水槽

ボックスガレージ

L型擁壁

水路

貯留槽

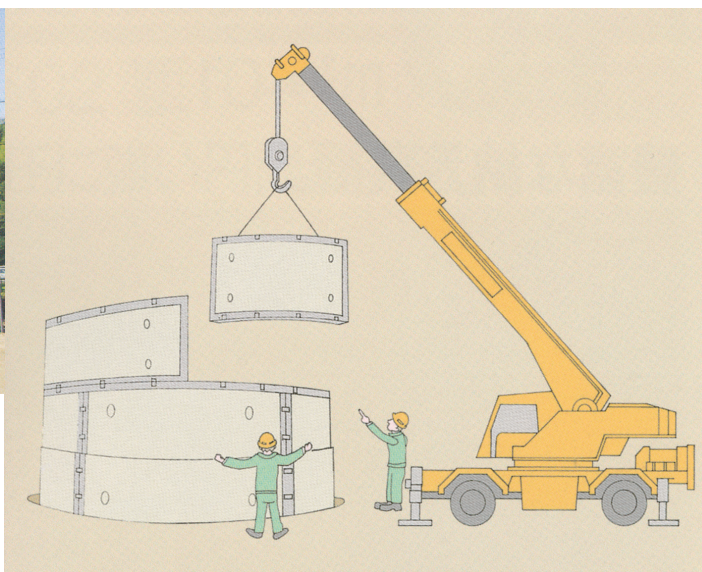
河川護岸基礎用
ブロック

ATMブリス

建築部材

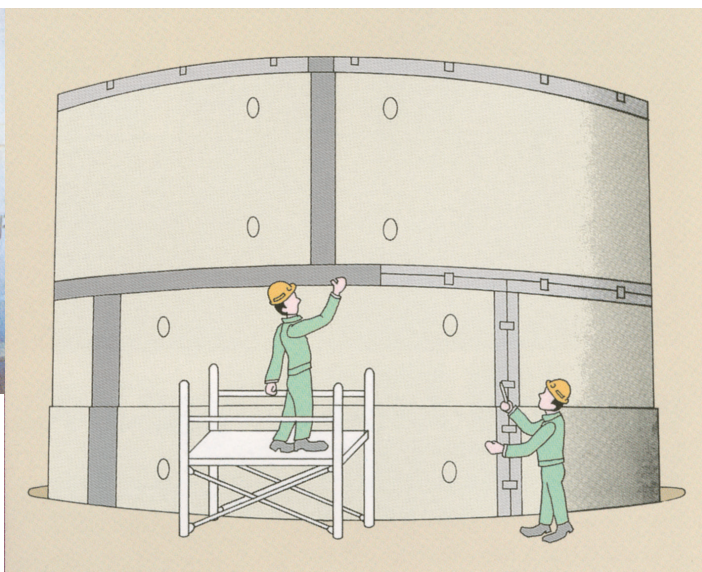
円型水槽 (潜函工法)

耐震性防火貯水槽 (潜函工法) の施工方法



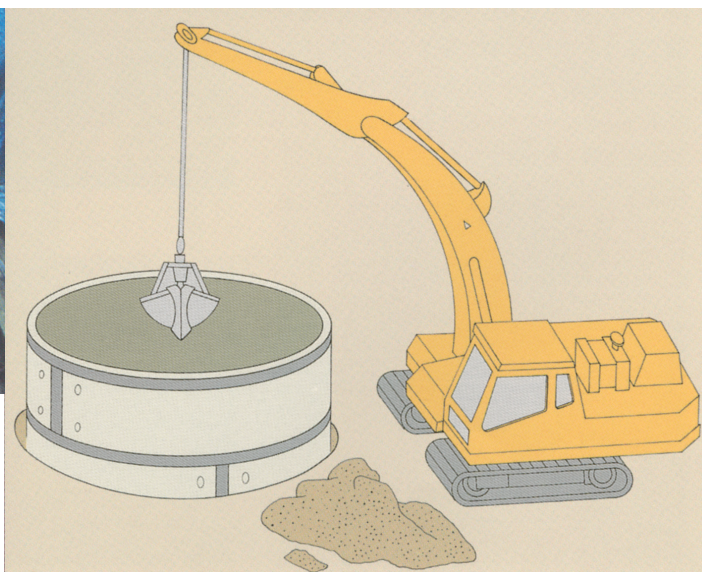
1 本体セグメント組立て

- 標準的には、地中障害物の有無を確認するため、本体外直径に両サイド各々1mを加えた直径で先掘りし、その中で本体を組立てします。



2 本体止水処理

- ボルトボックスに無収縮モルタルを充填した上、全6工程の止水処理を内外面の目地に施します。

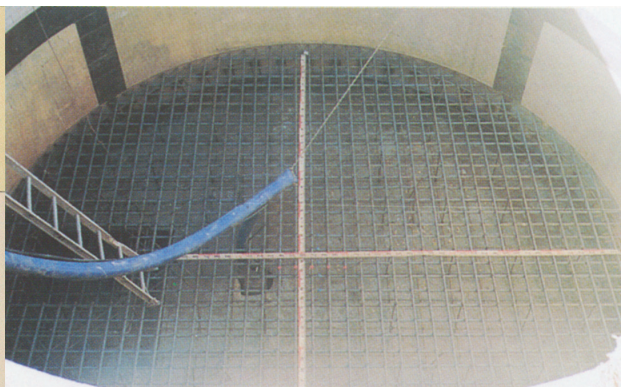
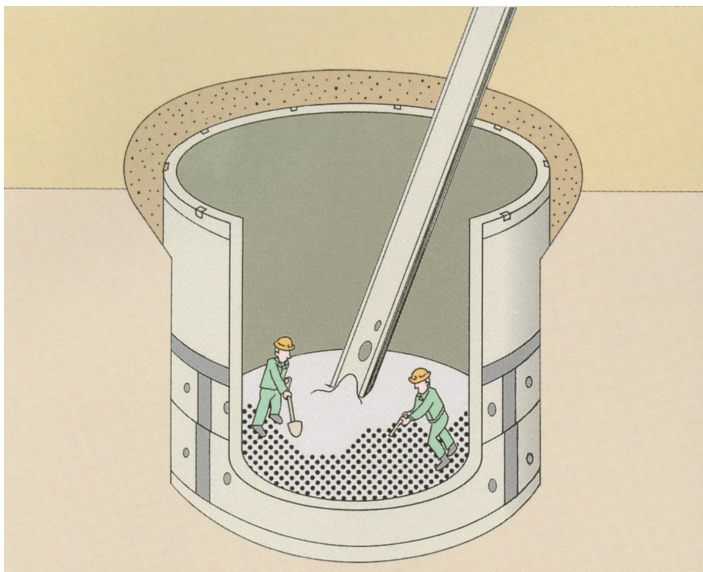


3 掘削、沈設 (潜函工法)

- 本体内側底面の地盤を機械及び人力で掘削し、本体自重で所定の深さまで沈下させます。

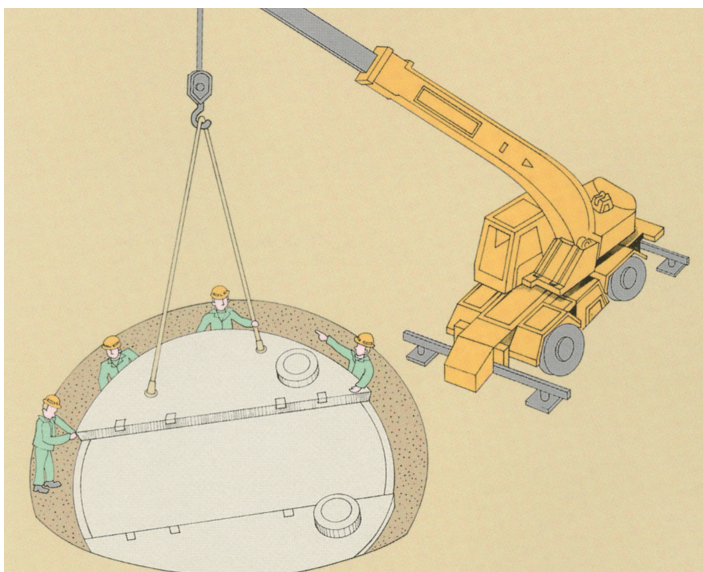
円型水槽 (潜函工法)

耐震性防火貯水槽 (潜函工法) の施工方法



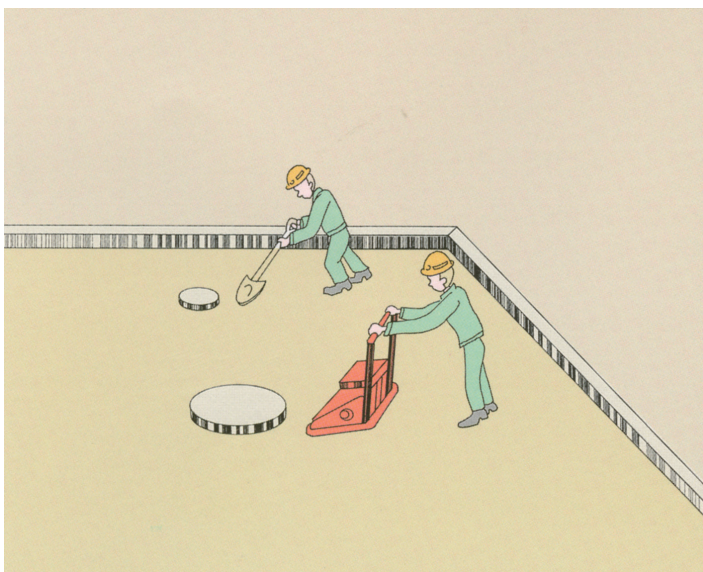
4 基礎底版構築

- 本体と底版の接合面には、インサートとアンカー金具を組合わせた形式を採用し、さらに止水板を埋め込み、本体と底版を一体化します。



5 頂版組立てマンホール構築 頂版止水処理

- 3又は4ブロックに分割された頂版を組立てた上、本体と同様の止水処理を行います。



6 埋戻し、復旧 完成

- 埋戻し、転圧を行います。

共同溝

ボックスカルバート

防火水槽

ボックススガレージ

L型擁壁

水路

貯留槽

河川護岸基礎用
ブロック

ATMブリス

建築部材

MEMO

共同溝

ボックスカルバート

防火水槽

ボックスガレージ

L型擁壁

水路

貯留槽

河川護岸基礎用
ブロック

ATMブース

建築部材